

I. 長期戦略テーマ別帳票

提出日 2024年 8月7日

テーマ「関西学院のアイデンティティ共有」

長期戦略テーマの責任者
(統轄部署)院長
中道 基夫
(総務部)

1. 長期戦略のテーマ

超長期ビジョン	長期戦略(テーマ名)	統轄部署
4 総合学園と一貫教育	(2) 関西学院のアイデンティティ共有	総務部
内容		
<p>全ての学校において学院のアイデンティティであるスクールモットー“Mastery for Service”を共有する。</p> <p>具体的には、アイデンティティ浸透を推進するための主管部署の整理・再検討やインナーコミュニケーション政策の確立など、中長期的な複数の施策を通じて児童・生徒・学生、教職員、卒業生への浸透を図る。</p> <p>【フェーズⅡに向けた課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(各学校)一貫教育を通じた教育価値を可視化するための、Kwansei コンピテンシーに関連する学修成果の修得状況調査の検討 ・千里国際高等部・中等部におけるキリスト教主義教育の実践 <p>【参考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(各学校における) Kwansei コンピテンシーを涵養する「オナーズ教育」等の導入 <p>【フェーズⅡの Total Review】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイデンティティ浸透協議会及びインクルーシブ・コミュニティ推進協議会の実質化が図られ、推進のための具体策が実行されている。 ・院長室の主導で、アイデンティティ浸透に向けた具体的取り組み(メッセージ動画の定期配信やミッションステートメント可視化)が実践された。 ・SOGI 研修が新たに導入され、多様性理解の推進が図られている。 <p>【フェーズⅢに向けた課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状の取組の成果検証の実施(指標の見直しを含む) ・千里国際キャンパスにおけるキリスト教主義教育実践の具体策検討 ・別テーマからの実施計画の移行により、本長期戦略のさらなる推進を図る 		

I. 長期戦略テーマ別帳票

提出日 2024年 8月7日

テーマ「関西学院のアイデンティティ共有」

長期戦略テーマの責任者
(統轄部署)

院長
中道 基夫
(総務部)

指標 1

指標	内容					
指標名	スクールモットーの浸透度 (児童・生徒・学生、教職員、卒業生)					
定義・算式	①児童(保護者): 学校評価での設問: スクールモットーの認知度 ②生徒(中学部・高等部): 学校評価での設問: スクールモットーの認知度 ③生徒(SIS): 学校評価での設問: スクールモットーの認知度。2022年度より、「SISは世界市民を育成するという意識を持って育てている」に変更 ④学生: 共通学生調査(IR1年生調査)の項目「あなたはスクールモットーの意味を説明できますかの「説明できる」の割合。2022年度より、スクールモットーの理解度の「理解している」「ある程度理解している」の割合に変更 ⑤教職員: アンケートの開発が必要としていたが、浸透の施策のないままにアンケート調査をしても意味がないため、教職員については、まずは浸透させる施策の検討を行う。 ⑥IR卒業生、卒業1年目調査における設問「スクールモットーを普段意識する程度は?」の「常に意識している」の割合 2022年度より「スクールモットー“Mastery for Service”をどの程度意識していますか」の「意識している」の割合に変更					
現状値 (指標設定時)	①②③児童・生徒: 設問なし ④学生: 24.4% ⑤教職員: — ⑥卒業生: —					
目標値	フェーズ1終了時(2021年度)		フェーズ2終了時(2024年度)		フェーズ3終了時(2027年度)	
	①児童(保護者)100% ②生徒(中学部・高等部)100% ③生徒(SIS)58% ④学生 45% ⑤教職員 — ⑥卒業生 —		①児童(保護者)100% ②生徒(中学部・高等部)100% ③生徒(SIS)60% ④学生 50% ⑤教職員 — ⑥卒業生 —		①児童(保護者)100% ②生徒(中学部・高等部)100% ③生徒(SIS)フェーズ2の状況により設定 ④学生: フェーズ2の状況により設定 ⑤卒業生 60%	
実績値	2019年度	① 99% ② 99% ③ 56% ④ 37.6% ⑤ — ⑥ 卒業生 12.6% 卒業1年目 5.3%	2022年度	① 100% ② 99% ③ 80%(回答項目変更有) ④ 80%(回答項目変更有) ⑤ — ⑥ 卒業生 26.3% 卒業1年目 14.6%	2025年度	
	2020年度	① 99% ② 98% ③ 69%(回答項目変更有) ④ 35.6% ⑤ — ⑥ 卒業生 13.16% 卒業1年目 4.3%	2023年度	① 100% ② 98.6% ③ 80.2% ④ 65.2% ⑤ — ⑥ 卒業生 12.3% 卒業1年目 13%	2026年度	
	2021年度	① 100% ② 98.5% ③ 43.0% ④ 38.7% ⑤ — ⑥ 卒業生 — (21年度は調査なし) 卒業1年目 4.7%	2024年度		2027年度	

I. 長期戦略テーマ別帳票

提出日 2024年 8月7日

テーマ「関西学院のアイデンティティ共有」

長期戦略テーマの責任者 (統轄部署)	院長 中道 基夫 (総務部)
-----------------------	----------------------

2. 実施計画ロードマップ

実施計画		担当部署		学部・研究科での取組み有/無	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
①	キリスト教主義に基づく関西学院アイデンティティの浸透	総務部		必要なし	3年間			3年間			3年間		
②	インナーコミュニケーション政策の確立と推進	広報	ブランド戦略本部	必要なし				3年間			3年間		
③	関西学院全体での人権教育の推進およびインクルーシブ・コミュニティ構築の新たな展開	吉岡・院長事務課		必要なし	3年間			3年間			3年間		
④													
⑤													
⑥				必要の有無を選択ください。									
⑦				必要の有無を選択ください。									
⑧				必要の有無を選択ください。									
⑨				必要の有無を選択ください。									
⑩				必要の有無を選択ください。									
【備考欄】													

4-(1)-①「インナーコミュニケーション政策の確立と推進」を統合

※想定される実施計画の例示

- ① 関西学院アイデンティティの浸透を推進するための主管部署の整理・再検討
- ② インナーコミュニケーション政策の確立と推進（再掲）
- ③ インクルーシブ・コミュニティの構築
- ④ 自校教育の永続的な実施
- ⑤ 学院全体での人権教育の推進
- ⑥

※ロードマップ策定作業用記号



I. 長期戦略テーマ別帳票

提出日 2024年 8月7日

テーマ「関西学院のアイデンティティ共有」

長期戦略テーマの責任者
(統轄部署)院長
中道 基夫
(総務部)

3. 本長期戦略テーマの各実施計画に関する費用、人員の合計 (2019年度～2027年度)

◆フェーズⅠ：2019年度～2021年度

費用計画・人員計画 (単位：万円)	2019年度	2020年度	2021年度
経費合計	非公開		
人件費合計			
総計 (経費+人件費)			

◆フェーズⅡ：2022年度～2024年度

費用計画・人員計画 (単位：万円)	2022年度	2023年度	2024年度
経費合計	非公開		
人件費合計			
総計 (経費+人件費)			

◆フェーズⅢ：2025年度～2027年度

費用計画・人員計画 (単位：万円)	2025年度	2026年度	2027年度
経費合計	非公開		
人件費合計			
総計 (経費+人件費)			

I. 長期戦略テーマ別帳票

提出日 2024年 8月7日

テーマ「関西学院のアイデンティティ共有」

長期戦略テーマの責任者
(統轄部署)院長
中道 基夫
(総務部)

4. 進捗状況等記入欄

	進捗状況および今後の課題、方向性
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> ・4-(2)-①キリスト教主義に基づく関西学院アイデンティティの浸透を推進するための主管部署の整理・再検討およびその内容の開発： ・4-(2)-③関西学院全体での人権教育の推進およびインクルーシブ・コミュニティ構築の新たな展開：いずれの実施計画も概ね当初の計画どおりに進めることができた。なお、両計画に共通する、今後施策を推進していくにあたっての課題として、事務局機能を担う吉岡記念館事務室の人員体制整備が挙げられた。 ・4-(2)-④自校教育の継続実施と新たな展開：一旦、実施を2021年度に見送った。 (→その後、新型コロナウイルス感染拡大による状況変化を受けて、園児・児童・生徒・学生やその保護者に向けた学院からのメッセージ発信を2020年度中に実施する方向で検討中。)
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> ・4-(2)-①キリスト教主義に基づく関西学院アイデンティティの浸透を推進するための主管部署の整理・再検討およびその内容の開発：アイデンティティ浸透協議会の参画組織を改めた。今後、本協議会を開催し具体的な取り組みについて検討する。 ・4-(2)-③関西学院全体での人権教育の推進およびインクルーシブ・コミュニティ構築の新たな展開：2020年度の指標1～3に定めた水準は達成している。今後は、指標1については閲覧者数把握の技術的な問題解決方法を検討、指標2についてはLGBTQ+の学生・卒業生を対象としたフォーカスグループインタビューおよびweb調査を実施、指標3については、ライフストーリー集のアップデートに関して2022年度に実施できるよう準備を進める。 ・4-(2)-④自校教育の継続実施と新たな展開：具体的な政策実施に向けた検討・取り組みができていない。今後、自校教育の推進・浸透施策として、各学校とも相談のうえで今後の方向性を定める。
2021年度	<ul style="list-style-type: none"> ・4-(2)-①キリスト教主義に基づく関西学院アイデンティティの浸透を推進するための主管部署の整理・再検討およびその内容の開発：アイデンティティ浸透協議会は発足されているが、活動は開始されなかった。アイデンティティ浸透のための取り組みについての検討については、院長を中心に院長室で検討する方向に変更する。 ・4-(2)-③関西学院全体での人権教育の推進およびインクルーシブ・コミュニティ構築の新たな展開：指標1と指標3に関しては計画を大きく上回る閲覧者数があった。指標2研修開発に向けたWeb調査を実施し、400名近くの方に回答いただいた。2022年度に向けては、研修の開催に向けて準備を進める。
2022年度	<ul style="list-style-type: none"> ・4-(2)-①教育連携課が事務局となり、初めてのアイデンティティ浸透協議会を開催した。今後は年2回程度開催し、取り組み内容に関する意見徴取や検証を行う予定である。2022年度から開始した院長室メッセージ「風に思う」の配信については3年間継続する方向としている。その他のアイデンティティ浸透に関する取り組み内容は院長室を中心に企画し、各学校にも協力を得て実行し、広報室等と連携しその内容を各種媒体で配信していく。 ・4-(2)-③指標1「学内人権教育・研修データベース活用回数」に関しては、計画を大きく上回る92回の閲覧者数があった。指標2「教職員のための多様性尊重研修」については、試行的に2月に研修を実施した。講義1時間、ワークショップ1時間の内容で、19名が参加し、16名が修了し、修了証を授与した。今後は研修回数を増やすとともに、希望する研修修了者にオリジナルストラップ、オリジナルバッジおよびステッカーを配布し、修了者の可視化に努める。指標3「ライフストーリー集 vol. 2」の執筆・編集が完了し、計画を上回る閲覧があった。これについては予算の関係で冊子を発行できていない。予算を確実に確保できるよう交渉を進める。
2023年度	<ul style="list-style-type: none"> ・4-(2)-①については、アイデンティティ浸透協議会を年2回程度開催したほか、2022年度に開始した院長室メッセージ「風に思う」の配信を継続した。 ・4-(2)-③指標1「学内人権教育・研修データベース活用回数」に関して、計画を大きく上回る100回の閲覧者数があった。指標2については、教職員を対象としてSOGI尊重に関する研修を4回実施、計52名が修了した。修了者にピンバッジ等を配布し身に付けてもらうことで、SOGI尊重の支援者(アライ)の可視化に努めた。指標3「多様な背景を有する本学卒業生のライフストーリー集」は703回のサイト閲覧があったほか、サイト上での電子ファイルの公開とともに、冊子も印刷・発行した。
2024年度	
2025年度	
2026年度	
2027年度	